

- ◆研究者：小笠原 定久(オガハラ サダヒサ) 先生 / 千葉大学医学部附属病院 消化器内科
- ◆研究テーマ：進行肝細胞癌に対する革新的治療開発を目指した重粒子線治療と免疫チェックポイント阻害薬の併用療法の免疫応答機構の解明
- ◆助成金額：100 万円

#### 1：研究者になろうとしたきっかけ

消化器内科を、そのなかでも消化器癌を専門とする医師を志すことを決めた際に、医師が診療と研究の両方を全力で取り組む意義を先輩に教えていただいたことがきっかけです。

「我々医師には目の前の患者さんを全力で治療するのみならず、そこで得られた知見を将来不幸にも同じ病気になってしまう患者さんの治療を少しでもよくすることにつなげる責務がある」

#### 2：助成研究の内容紹介

進行肝細胞癌が肝臓内の血管である門脈や肝静脈に浸潤することにより極めて予後の悪い病態となります。このような患者さんの予後を劇的に改善するためには、血管内に浸潤した腫瘍の制御とその他の転移巣の双方を制御することが必要です。

本研究は、脈管侵襲の有する腫瘍を重粒子線治療で制御し、かつ免疫チェックポイント阻害薬との相乗効果を期待する画期的な新規治療です。

#### 3：2の将来に繋がる結果予想・目標

この研究の安全性や有効性が示されることにより肝細胞癌の最も予後不良のサブタイプである脈管侵襲を有する患者さんの予後が改善することを期待しております。

#### 4：全国の RFL 関係者に一言メッセージ

この度は本研究のご採択いただきありがとうございます。研究成果が革新的な新規治療につながるよう尽力いたします。